

投稿規定

掲載対象

日本泌尿器科学会雑誌は、泌尿器科学全般にわたる学術性の高い論文を掲載する。

構成

本誌は泌尿器科学に関連した (1) 原著論文 (2) 症例報告 (3) 手技・器具等の開発・工夫 (「手技の開発」) (4) 総説 (編集委員会からの依頼による) および (5) その他の公報をもって構成する。

投稿要領

1. **投稿資格**：筆頭著者が本学会会員であることを要する。
2. **独自性**：投稿原稿は他の学術誌に掲載済・掲載予定・投稿中であってはならない。
3. **倫理性**：投稿原稿の内容は倫理性に配慮し、臨床研究・動物実験とも実施施設の倫理委員会等の規定に従うものであることを本文中に記載すること。患者プライバシーの保護については日本泌尿器科学会の指針 (日本泌尿器科学会誌 96-6 に掲載) に準拠する。

4. 原稿の書式：

- 1) 原稿は標準的なフォント (MS 明朝, MS ゴシックなど) を用いた Microsoft 社の Word での作成を推奨し、A4 サイズとする。
- 2) 頁数：和文表紙を 1 頁目とし、頁数を各頁の下端中央部に記入する。
- 3) 英文：英文部分はダブルスペースとする。
- 4) 和文：現代かなづかいを用いて 30 字×22 行の横書きとする。なお外国語の表記は人名・地名などの固有名詞はなるべく原字を用いて最初の 1 字のみ大文字とし、普通名詞は全部小文字とする。日本語で書くときはカタカナとする。年号は西暦を用いる。数字はすべて算用数字を用い、略号は次のようにする。
3 カ月, 1 cm², 1 l, 1 ml, 1 g, mg/dl, 37°C 等。

- 5) 原稿の長さ：全体の長さ (和文表紙から図まで) は原著においては刷上り 10 ページ (30 字×22 行で 30 枚) 以内、症例報告においては同 4 ページ (30 字×22 行で 12 枚) 以内、手技の開発では同 6 ページ (30 字×22 行で 18 枚) 以内とするが、簡潔な記述が望ましい。なお、図表は各 1 点を 400 字詰原稿用紙 1 枚と換算する。

5. 原稿の形式：以下の順序と形式で記述し、和文表紙・英文表紙・英文抄録・和文要旨・本文・文献は各々改頁する。

- 1) 和文表紙：表題、所属機関名、著者名、連絡先 (住所、氏名、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス) の順に記載する。
- 2) 英文表紙：表題、著者名、所属機関名、の順に記載する。
- 3) 英文抄録：抄録本文 (600 語以内)、3 語以内の key words (英文) の順に記載する。原著の場合は目的、対象と方法、結果、結論を項目別に明記する。
- 4) 和文要旨：要旨 (600 字以内)、3 語以内のキーワード (和文) の順に記載する。原著の場合は目的、対象と方法、結果、結論を項目別に明記する。
- 5) 本文：原著では緒言、対象・方法、結果、考察の順、症例報告では緒言、症例、考察の順、手技の開発では、緒言、手技・器具・工夫、考察の順とし、**各項目ごとに頁を改める**。
- 6) 文献：引用文献は必要最小限にとどめる。引用のつど本文中に番号をうち、末尾に引用順に下記の書式にしたがって一括して記載する。雑誌名は、英文誌は Index Medicus、和文誌は医学中央雑誌の略記方法に従う。

雑誌の場合：著者名 (全員)：題名、雑誌名、巻、最初および最終頁、発行年。

- 例 1) Furuya R, Takahashi S, Furuya S, Takeyama K, Masumori N and Tsukamoto T: Chlamydia seminal vesiculitis without symptomatic urethritis and epididymitis. Int. J. Urol. 13, 466-467, 2006.
- 例 2) 菊地栄次, 中島 淳, 安藤利行, 長田浩彦, 宮嶋 哲, 中川 健, 丸茂 健, 大家基嗣: 前立腺癌放射線外照射後の性機能の検討. 日泌会誌, 102, 575-580, 2011.

単行本の場合：著者名：題名、書名、第何版、引用頁、発行社、発行地、発行年。

例 3) Stamey TA and McNeal JE: Adenocarcinoma of the prostate. In Campbell's Urology, 6 th ed., p1159-1221, Saunders Co., Philadelphia, 1992.

例 4) 日本泌尿器科学会日本病理学会編：前立腺癌取り扱い規約. 第 3 版, p25-30, 金原出版, 東京, 2001.

- 7) 表：標準的なフォント (MS 明朝, MS ゴシックなど) を用いた Microsoft 社の Excel での作成を推奨する。表は本文の記述との重複であってはならない。表題を上段に明記し、縦罫線の使用を避け、1 ページの紙面に許される字数以内におさめる。また各表には Table 1, Table 2 のように順番をつけ、原稿の本文中に挿入すべき位置を明示する。
- 8) 図の説明：図の表題と説明文を別紙にまとめて記載する。
- 9) 図：DOC (X), XLS (X), PPT (X), JPG, TIFF, GIF, AI, EPS および PSD フォーマットなどのデータを使用する。印刷原稿の解像度として 300 dpi を必要とする。カラー図版について、色再現性に懸念のある場合は、RGB モードで投稿し、論文受理後に申し出ることで CMYK フォーマットの図版を再提出することができる。各図には Fig. 1, Fig. 2 のように順番をつけ、原稿の本文中に挿入すべき位置を明示する。

6. 原稿の送付について：論文の投稿は、オンライン投稿システム「ScholarOne Manuscripts™」で行う。論文は、論文原稿、図、表のファイルに分けて、投稿ウェブサイトからアップロードする。必ず投稿前にシステムにより自動生成された PDF ファイル内の文字化け、画像の鮮明度などを確認する。実際の投稿の仕方は、投稿マニュアルに記載してあるので参照のこと。

投稿ウェブサイト：<http://mc.manuscriptcentral.com/jua>

- 1) ファイル名：アップロードファイルは、次のように半角英数字を用いて名前を付ける (拡張子は例示)。

論文原稿：MainDocument.doc

表：Table 1.xls Table 2.xls Table 3.xls

図：Fig. 1.jpg Fig. 2.jpg Fig. 3.jpg

- 2) ファイルサイズ：アップロードするファイルサイズは、すべてのファイルの合計で 20,000 KB までとする。

7. 論文のオンライン (web) 提供：論文採用に当たっては、論文のオンライン (web) 上での公開に同意すること

審査：原稿はその内容・形式などにつき 2 名以上のレフリーにより審査され、編集委員会の審議を経て、適格とされたものが受理される。

掲載：原稿は受理された順に掲載する。ただし特別掲載として申し込みを受けた場合は早期に掲載する。特別掲載を希望する場合はその理由を述べる。

校正：初校は著者校正とする。校正刷りは原稿とともに編集者指定の期日内に書留速達にて返送する。なお編集委員会の責任において若干の字句の訂正を行うことがある。

別刷：別刷り必要数は校正刷り返送時に申し込む。ただし 50 部以上とし、費用は全額著者負担となる。

掲載料：掲載料は 4 ページまでは 1 ページにつき 3,000 円、5 ページ目から 1 ページにつき 5,000 円とする。アート紙、写真版、図表、別刷などの料金は別に実費を申し受ける。特別掲載の場合は経費の全額が著者負担となり、更に特別掲載料として 30,000 円を申し受ける。

著作権について：本誌に掲載する著作物の複製、複製、転載、翻訳、データベースへの取り込み及び送信等の権利は、日本泌尿器科学会に譲渡されたものとする。著者自身のこれらの権利は拘束されないが、再利用の際には事前に日本泌尿器科学会宛に知らせることとする。

電子投稿システムの操作に関する問い合わせ先：

株式会社杏林舎 (Thomson Reuters社 ScholarOne™ の国内代理店) (オンライン投稿・査読システムの操作に関する技術的なサポート)
E-mail: s1-support@kyorin.co.jp

電話：03-3910-4517

電話受付時間：平日 9 時から 12 時, 13 時から 17 時まで

(2012 年 10 月 4 日改定)